

## 地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分)

都道府県名:京都府

1. 事業名	女性が輝く京都づくり事業
2. 実施期間	平成30年4月4日 ～ 平成31年3月31日
3. 事業の趣旨・目的	<p>経済団体等と行政の連携による「輝く女性応援京都会議」(女性活躍推進法に基づく協議会)の事務局機能を統合し開設した女性活躍推進拠点「京都ウイメンズベース」を中心に、経済団体等と連携しながら、女性活躍推進研修、中小企業を対象とした一般事業主行動計画の策定支援、離職した女性を対象としたリカレントプログラム、女性起業家の支援、市町村・企業を対象としたダブルケア対策など、京都における女性活躍推進に向けた多角的な取組みを実施する。</p>
4. 事業内容	<p>①女性活躍支援拠点「京都ウイメンズベース」の運営 行政(京都府・京都市・京都労働局)と経済団体等の連携による「輝く女性応援京都会議」の事務局機能を統合し開設した女性活躍支援拠点「京都ウイメンズベース」を運営し、京都企業における女性活躍推進のための取組みを実施するとともに、「輝く女性応援京都会議」「京都女性活躍応援男性リーダーの会」を運営</p> <p>②女性活躍・WLB推進企業応援チームによる中小企業支援 社会保険労務士等の資格を有する女性活躍・WLB推進マネージャーがチームを編成し、中小企業を対象に、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定を支援する他、「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証の取得支援や、計画実現のための女性活躍・WLB推進の具体的取組の支援など、段階的な取組みを実施</p> <p>③京都ウイメンズベースアカデミー事業 企業や社員が集い、研修・交流・政策立案・実践を行う場として「京都ウイメンズベースアカデミー」を運営し、女性活躍推進研修及びメンター×メンティーマッチング支援等を実施</p> <p>④女性中核人材育成研修 企業の意思決定に関わる女性の中核人材を育成するために、企業の上級管理職や社外人材(弁護士等)を対象に、経営に係る知識や技術の習得、リーダーシップや組織マネジメント力等の向上を目的とした研修を実施</p> <p>⑤大学と連携した女性活躍を推進するためのリカレントプログラム 結婚、子育て等のライフイベントにより離職したが、潜在能力を開花させて、再度働きたいというニーズに対応するため、京都ウイメンズベースと京都府内の大学(京都女子大学)が連携し「リカレント(学びなおし)プログラム」を実施</p> <p>⑥女性の起業・経営支援事業 起業アイデアを持った女性の社会参画を促し、女性起業家の裾野を拓げるため、アイデアのブラッシュアップから顕彰・事業化までを一貫支援するとともに、顕彰に子育て支援に係る知事賞を新設することにより、子育て支援につながる起業を促進</p> <p>⑦ダブルケアサポート事業 子育てと介護に同時に行う「ダブルケア」に直面しても働き続けられるよう、市町村の対応力向上を目的とした研修と、企業を対象としたシンポジウム及び実態把握を実施</p> <p>⑧大学と連携した女性活躍を推進するためのリカレント教育に関する就労支援事業 結婚、子育てのライフイベント等により離職した女性を対象とした京都府リカレントプログラムの講座実施と並行し、受講者一人ひとりのニーズに応じた就労や起業等を支援するため就労支援事業を実施 ※事業番号⑤の受講者に対する就労支援</p>
5. 事業効果及び効果検証の概要	<p>各事業において、参加者アンケート、参加者に対するヒアリング、委託事業者の実績報告書等から事業の効果を検証し、成果を確認している。 また、中長期的には、輝く女性応援京都会議で策定した「京都女性活躍応援計画」(女性活躍推進法に基づく推進計画)の参考指標である、「役職者の女性の状況」等の指標により、京都における女性活躍の状況を把握し、事業の効果や今後の展開について検証・検討を行う。</p>

<p>6. 目標達成度及び達成状況に対する評価</p>	<p><b>【各事業の目標達成状況】</b>  ①京都ウィメンズベース事業に講師として登壇した京都女性活躍応援男性リーダーの会の男性リーダーの人数(延べ)  目標値:6人 → 実績:2人  ②女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画届出数(従業員300人以下の企業)  目標:150社(30年度末) → 実績:145社(30年12月末) ※31年3月末の届出数は現時点で未公表  ③京都ウィメンズベースアカデミーによる提供講座数  目標:150講座 → 実績:150講座以上(集計中) ※29年度実績221講座  ④企業における女性リーダー育成研修の受講者数(累計)  目標値:1,000人(平成27～31年度) → 現状値:1,404人(平成27～30年度)  ⑤リカレントプログラムの受講後に、就職活動を実施した人数  目標:受講者数の50% → 実績:受講者の75%(20人中15人)  ⑥第7回京都女性起業家賞応募者数  目標:45人 → 実績:43人  ⑦企業相談員によるダブルケアに関する企業アプローチ件数  目標:300件 → 実績:300件  ⑧リカレントプログラムの受講後に就労した人数  目標:受講者数の50% → 実績:受講者数の60%(20人中12人)</p> <p><b>【評価】</b>  事業番号①について目標を達成することができなかったが、参加した京都女性活躍応援男性リーダーの会の男性リーダー(企業経営者)が、自身の会社でも女性活躍推進に取り組む決意を示していただくなど、男性リーダーを巻き込んだことによる効果を確認することができた。  また、事業番号⑥についても目標に到達しなかったが、実績として43人の応募があり、建設、衣料品、食品など、多様な起業アイデアから、優れたアイデアを選考・ブラッシュアップすることができた。  その他の事業の目標については、達成または達成見込みであり、輝く女性応援京都会議構成団体と連携した広報・事業実施により、効果が高まったと考えられる。</p>
<p>7. 今後の課題</p>	<p>女性活躍推進研修、リカレントプログラム、女性起業家支援、ダブルケアサポートなど、女性活躍推進に向けた多角的なアプローチを実施し、事業毎の成果を確認・検証しながら取組みを進めているが、女性管理職割合※1や、起業家に占める女性割合※2、介護・看護による離職者の状況※3等から、依然として女性活躍推進の必要性が感じられる。引き続き取組みを進めるとともに、法制化による対応が進められているハラスメント対策など、新たな角度から女性活躍の推進を図っていきたい。</p> <p>※1:京都府における役職者の女性の状況(従業員300人以下) 係長相当職16.8% 課長相当職8.5%  (平成29年度女性活躍実態調査(京都府))  ※2:京都府における企業家に占める女性割合 17.2%(平成29年就業構造基本調査(総務省))  ※3:京都府内で介護・看護を理由に離職した人の数 平成28年10月～29年9月 2,100人  (平成29年就業構造基本調査(総務省))</p>
<p>8. 事業の実施体制</p>	<p><b>【事業番号①】</b>  「輝く女性応援京都会議」の事務局である京都府・京都市・京都労働局・京都商工会議所が京都ウィメンズベースを運営し、「輝く女性応援京都会議」及び「京都女性活躍応援男性リーダーの会」を開催</p> <p><b>【事業番号②～⑧】</b>  京都ウィメンズベース(事務局:京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所)において、事業の企画・立案を行い、それぞれの業務内容に精通した事業者へ業務を委託。委託後は進捗管理を行うとともに、業務の詳細、広報等について、随時受託者と調整しながら事業を執行。</p> <p><b>【各事業共通】</b>  「輝く女性応援京都会議」の構成団体と、各事業の広報・周知等において連携  &lt;輝く女性応援京都会議 構成団体:21団体&gt;  京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所、京都商工会議所女性会、京都府商工会議所連合会、京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都経営者協会、(一社)京都経済同友会、(公社)京都工業会、京都府商工会女性部連合会、日本労働組合総連合会京都府連合会、国際ソロプチミスト京都、国際ゾンタ京都クラブ、(公財)大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、(公財)21世紀職業財団関西事務所、京都府・市男女共同参画センター</p>